

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Cost-effectiveness of surveillance of stage I melanoma. A retrospective appraisal based on a 10-year experience in a dermatology department in France.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ24-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	8534937	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Dermatology.	
	雑誌 ID		
	巻	191	
	号	3	
	ページ	199-203	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1995	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Basseres N	Hopital Ste-Marguerite, Marseille, France.
その他著者 1		Grob JJ	同上
その他著者 2		Richard MA	同上
その他著者 3		Thirion X	同上
その他著者 4		Zarour H	同上
その他著者 5		Noe C	同上
その他著者 6		Collet-Vilette AM	同上
その他著者 7		Lota I	同上
その他著者 8		Bonerandi JJ	同上
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	Stage I メラノーマ患者におけるフォローアップの対費用効果を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	Hopital Ste-Marguerite	
	対象者	1981 年から 1991 年までの Stage I (転移の無い) 患者 912 人 (In situ と厚さ 0.4mm 未満の症例は除外) のうち直近 2 年間定期診察に来ている 528 人	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)	
	介入 (要因曝露)	1981 年以降、年 2 回の診察、胸部 X-P、腹部超音波検査。定期診察の間に近医にて診察を受けることも勧めた。1984 年以降年 1 回の腹部、胸部・頭部 CT を追加。	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	再発	1.主要 2.副次 3.その他 (1)
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
6		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
7		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
8		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
主な結果	528 人中 115 人に再発が認められ、そのうち 33%は患者自身が発見し、16%は近医、39%が Hopital Ste-Marguerite で発見された。胸部単純写真または腹部超音波によって 10%の再発しか捕えられず、CT スキャンは有用ではなかった。臨床診察と画像検査の間には費用対効果の面で大きなギャップがあった。私たちの施設においては、最後の診察から転移発見までの期間は転移の 3 分の 1 で 4 ヶ月以内であった。		

	結論	Stage I メラノーマ患者において、診察だけが費用対効果の高い再発発見手段である。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (IV) 1.5mm 以下の患者が対象。